



特集

新・大野市が誕生

市の人事異動など／臨時市議会／市政功労者表彰
保育園・幼稚園の入園受付／年末年始の市の業務

合併記念でイベント多彩

上 サンソンでしゃんそん
右下 穴馬おどり
左下 越前こぶし組「大和巡行」

12月号

新・大野市が誕生

九頭竜の源流と城下町が育む

うるおいと活力の宝庫

未来への誓い

私たちは、九頭竜川の源の豊かな自然の中で育ち、長い歴史を持つ城下町で暮らし、古くから岐阜県と行き来した美濃街道を誇りに生活してきました。この自然と歴史をこれからも大切に守り育て、私たちがおじいちゃん・おばあちゃんになっても変わらない自然と歴史あふれるまちであるために、次の六つのまちづくりを目指します。

一つ、自然を大切にすることや感動する心を育み、自然と人間、生き物たちが一緒に暮らしていけるまちを目指します。

一つ、お互いに学び合い、育み合うことで素晴らしい人間になれるまちを目指します。

一つ、今あるまちの産業をもっともりと盛んにし、新しい産業を作り出して活気あふれるまちを目指します。

一つ、安心して子供を産み育てることができ、おじいちゃん・おばあちゃんになっても健康で暮らすことができるまちを目指します。

一つ、生活に必要な水や下水、電気を整備し、だれもが気持ちよく暮らせるまちを目指します。

一つ、道や乗り物を整備し、多くの人と交流し、友達になれるまちを目指します。

合併記念式典を開催

大野市・和泉村合併記念式典が十一月七日、文化会館で開かれました。行政・議会関係者をはじめ、山崎正昭参議院議員や山岸猛夫県議会副議長、山田庄司県議会議員ら約六百人が出席して新市の門出を祝いました。式典は「奥越太鼓保存会」と「青葉の笛保存顕彰会」による演奏で幕開け。天谷光治市長が「合併を機に新市のさらなる融和と団結の意識を高め、全市民が一体となり、恵まれた自然環境と共生する快適で活力に満ちたまちづくりを一層まい進していきたい」と式辞を述べました。

牧野勇市議会議長は「新市の宝である自然・歴史・人にさらに磨きをかけ、市民が協力し合い、新たな発見をし、強い絆で結ばれながら創造する新しいまちづくりを進めていきたい」と述べ、魅力ある地域づくりへの決意を新たにしました。

続いて合併功労者の総務大臣表彰や感謝状の贈呈が行われ、新市のシンボルとなる花が「コブシ」、木が「ブナ」、鳥が「ウグイス」、魚が「イトヨ」に決まったことが発表されました。

最後に八人の児童が未来への誓いを元気に読み上げ、新市のさらなる発展を誓いました。

新市では
 まちづくりの基本理念を
 「新たな発見と強い絆で創造する
 まちづくり」と定めています。
 九頭竜川が代表する「自然」や
 永い時を刻んだ「歴史」
 郷土に培われたたくましい「人」など
 次世代に受け継ぐべき
 地域の宝を共有しながら
 住民一人一人が手を取り合い
 魅力あふれるまちを
 創造していきます。



大野市の概況

人口	39,872人
男	18,999人
女	20,873人
世帯	12,302世帯

※人口と世帯は11月7日の住民データから

面積	872.30平方 ^キ □ (県面積の20.8%)
耕地面積	44.73平方 ^キ □ (平成15年データ)
森林面積	758.73平方 ^キ □ (平成15年データ)



和泉支所を開設

旧和泉村役場の庁舎に和泉支所を開設しました。

戸籍・住民登録の届け出受理や各種証明書の交付といった窓口業務をはじめ、地区内の施設管理や工事の地元調整、観光イベントの企画運営などを行います。

和泉支所 〒912-0292 大

野市朝日16-3-4 (☎78・211)

新市議・特別参与決まる

合併特別法に基づく在任特別により、旧和泉村議会議員七人のうち、

引き続き大野市議会議員として在任する三人が決まりました。市議として在任するのは、木嶋則幸氏、清水一英氏、登久男氏の三議員です。

また和泉地区の円滑な行政運営を図るため、旧和泉村長の山本一郎氏を特別参与に任命しました。非常勤として和泉支所に在勤し、支所所管区域の懸案事項に関する調整などを行います。任期は二年間です。

住所表示が変わりました

「大野郡和泉村」の住所表示が十一月七日から「大野市」に変わりました。大字名・地番、郵便番号、電話番号は変更ありません。

「新市に期待」まちの声

新市の誕生にあたり、これからの市政やまちづくりを期待することを住民の皆さんに聞きました。

住民に密着したサービスを

森尾 佳寿美さん
板倉・団体職員



和泉村の名前には愛着があったので、名前がなくなったことは少し寂しく感じます。市になってもこれまで通り、住民に密着したサービスを続けてほしいです。

地域のつながり大切に

藤田 新市さん
角野・会社員



大野と和泉との合併で、仕事や生活でのつながりはこれまで以上に深くなると思います。お互いの意思の疎通を大切にし、協力して良いまちにしていきたいですね。

若者が働く場所に

石田 亘さん
下麻生嶋・会社員



若者が生き生きと暮らせるまちになってほしいと思います。そのためには安定した職場の確保が大切。市外へ出なくても働けるよう企業誘致を進めてほしいです。

安心して暮らせるまちに

千藤 しず子さん
下黒谷・農業



夜間の見回りを行うなど防犯対策がしっかりした、安心して暮らせるまちづくりを期待します。自然や歴史を生かして、観光にもさらに力を入れてほしいです。

鳥山 泰弘さん (明倫町・自営業)

隣近所が助け合い、住民みんなが心豊かに暮らせるまちにしていきたいです。長い目で見ると、自然環境を守り、田舎ならではの良さを生かしていくことが大切だと思います。

鈴木 亜希子さん (朝日・主婦) 和泉には子供が遊ぶ場所やイベントが少なかったので、子供同士が交流できる機会が増えるとうれしいです。

市街地でイベントがある時は、バスの送迎などがあると助かりますね。

永田 信子さん (中荒井町一丁目・農業) 合併を契機に中部縦貫道の日も早い開通を期待します。中京方面からの観光客呼び込むことで、まちなかに活気が戻り、市全体の活性化につながると思います。

中村 啓一さん (朝日・団体職員)

市の委員会などに和泉からも積極的に参加し、一体感のあるまちづくりを進めていきたいです。交通の便が良くないので、市営バスなど公共交通機関の充実を期待します。

市の人事異動など

和泉村との合併に伴い、十一月七日付で総数百二十一人の人事異動を行いました。今回の異動は、合併により和泉地区の住民サービスの低下を招かないよう配慮するとともに、緊急性のある事務事業を円滑に進めることを重視して行いました。

新たな組織体制としては、旧和泉村役場の庁舎に総合的な支所機能を持つ和泉支所を設置。支所は三課五係体制とし、部長級の支所長をはじめ職員十六人を配置しました。

また、市教育委員会事務局の和泉分室を山村開発センター（朝日26-30-1）に設置。分室には職員四人を配置し、公民館を併設することで、社会教育の拠点機能を併せ持つ組織体制としました。

そのほか、大野市・和泉村で構成していた大野地区消防組合の解散に伴い、消防組合の体制をそのまま引き継ぐ大野市消防本部と大野市消防署を設置しました。

特別職（非常勤）

特別参与

山本一郎

一般職員

部長級

【市長部局】和泉支所長・谷秀明

課長級

【市長部局】総務部▽企画課長・江波庄進▽産業経済部▽林野耕地課長（兼）木材工芸品加工施設館長・嶋田康博▽和泉支所▽管理課長・道岸孝治▽振興課長・中村洋一
 【教育委員会】和泉分室長（兼）和泉公民館長（兼）山村開発センター館長（兼）学校給食センター所長（兼）農林業者トレーニンングセンター館長・野尻廣

課長補佐級

【市長部局】総務部▽総務課課長補佐（職員・行政担当）・国枝勢津子▽企画課課長補佐市民協働係長事務取扱・山元信子▽税務課課長補佐（市民税・納税担当）・宮下隆▽税務課課長補佐（資産税担当）資産税係長事務取扱・田中一郎▽市民福祉部▽保健衛生課課長補佐（兼）保健センター一次長・谷口久和▽福祉課課長補佐（社会福祉担当）・田中雄一郎▽福祉課課長補佐（児童福祉担当）

児童福祉係長事務取扱・三嶋政昭▽和泉保育園指導保育士・帰山つゆ子
 ▼産業経済部▽商工観光課課長補佐（商工労政担当）・齋藤嘉代▽商工観光課課長補佐（観光担当）観光係長事務取扱・中山継男▽和泉支所▽住民課長心得（兼）和泉保育園長・金子正義

係長級

【市長部局】総務部▽企画課企画政策係長・真田正幸▽和泉支所▽管理課総務係長・加藤正幸▽住民課住民福祉係長・谷喜美江▽住民課保健環境係長・加藤公典▽振興課産業建設係長・末永勝士▽振興課観光交流係長・稲郷一朗

消防職員

消防本部消防長

永田正幸

消防本部長（兼）消防署長

江守正明

課長級

消防課長・中村和男▽総務課長・松田市郎▽予防課長・権守國夫

課長補佐級

消防課通信指令室長・坂下佳実▽消防課長補佐（消防・警備担当）・石田純也▽総務課長補佐・山田守雄▽総務課長補佐・小林進▽予防課長

補佐（危険物担当）・谷口利和▽予防課長補佐（予防担当）・朝日弘幸
 ▼和泉分遣所長・大藤利一

係長級

消防課通信指令室係長・猪野則夫▽消防課消防係長（兼）救助担当・松田佳生▽消防課警備室長（兼）救急担当・仲井太▽総務課庶務係長・高野清彦▽総務課財政係長・反保昭雄▽予防課巡察指導係長・松本耕治▽予防課危険物係長・飯田裕人▽予防課予防係長・多田和明
 ▼和泉分遣所長補佐・山田幸平

和泉支所・分室の主な業務

和泉支所	管理課	総務係	税証明、公金の収納、地域審議会など
	住民課	住民福祉係	窓口事務、国民健康保険、介護など
		保健環境係	保健、ごみ、公共交通機関の利用促進など
	振興課	産業建設係	道路などの維持管理、除雪、水道など
観光交流係		観光事業、観光客の受入など	
教育委員会事務局 和泉分室	教育振興係	学校教育、生涯学習、スポーツ振興など	

市政功労者26人を表彰

市政に関するさまざまな活動に携わり、その充実と発展に貢献した市民を表彰する市政功労者表彰式を十一月三日に行いました。表彰を受けたのは次の皆さんです。(敬称略)



自治振興

牧野勇(春日三丁目) 幾山秀一(橋爪) 本田章(泉町) 米村輝子(美里町) 竹内安江(稲郷) 谷口彰三(犬山) 浦井智治(日吉町) 笹島彦治(西山) 市議会議員として十年余、市政の発展と地方自治の進展に尽力▼小池金次郎(中野) 行政連絡事務嘱託員として十五年余、地域住民の福祉向上と地区自治活動に尽力

社会事業

多田正則(伏石) 人権擁護委員として十二年余、市民の人権擁護活動に尽力▼前川喜範(友江) 保護司として十四年余、過ちに陥った人たちの更正に尽力

教育文化

山川秀(伏石) 栃木一男(春日) 学校医として二十年余、児

童・生徒の健康管理や健康診断の技術向上などに尽力▼阿部保子(七板) 社会教育委員として十五年余、女性活動や青少年活動など社会教育活動に尽力▼朝日正幸(美川町) 体育指導員として二十二年余、陸上競技の指導育成と体育協会活動に尽力

保健衛生

武内希子(不動堂) 宮山絹子(高砂町) 保健推進員として十八年余、健康づくりの地域リーダーを務めるなど健康推進活動に尽力

交通

田中敏雄(猪島) 前田久二榮(佐開) 飯岡重一(萩ヶ野) 毎川信二(城町) 多田繁男(森本) 交通安全協会役員として三十二〜三十七年余、協会の円滑な運営と交通安全意識の普及に尽力

消防

齋藤輝男(矢) 岩本清(南六呂師) 福田守(南六呂師) 消防団員として三十年余、地域防災活動と市民生活の安定保全に尽力

德行卓越

川瀬政(下麻生嶋) 古切手の張り絵を通し、子供たちに物を大切にすることを教えるなど德行教育に寄与

臨時市議会

第二百四十回臨時市議会が十一月二日に開かれました。

和泉村との合併に伴う「一般会計補正予算案」や「大野市和泉支所の設置等に関する条例案」など七十九議案と、市議会委員会条例の一部を改正する市会案一件が審議され、いずれも原案通り可決されました。

補正予算の概要

一般会計では、歳入・歳出に十六億千三百七十七千円を追加。補正後の予算総額は、百七十二億二千四百七十七千円となりました。

補正の主な内訳は、和泉地区の小中学校建設経費に四億七千九百四十五万七千円。和泉地区の森林整備活動支援に二千九百三十九万五千円。フレアール和泉、平成の湯の管理運営経費に二千八百九十五万八千円。和泉地区の除雪委託料などに千九百三十五万九千円。合併に伴い市議となった三人の議員報酬などに九百三十二万七千円などとなっています。

また特別会計では、二億八千八百八十四万九千円を追加。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた予算総額は三百六億八千三百四十三万七千円となりました。

保育園一覧

保育園名	区分	電話	所在地	特別保育（予定）		
				乳児	延長	一時
義景保育園	公立	66・3333	清水 119-12-1	○	○	○
亀山保育園	民間	65・1104	水落町 3-35	○	○	○
あかね保育園	公立	66・5273	水落町 7-24	○	○	○
誓念寺保育園	民間	65・6167	錦町 4-17	○	○	○
誓念寺中野保育園	民間	65・6166	中野 64-18-3	○	○	○
いとよ保育園	民間	66・3848	清和町 710	○	○	○
春日保育園	公立	66・4005	日吉町 24-6	○	○	
開成保育園	民間	65・1103	新庄 5-15-2	○	○	○
いなやま保育園	民間	66・0038	篠座 94-39	○	○	○
篠座保育園	民間	65・6570	篠座 74-32	○	○	○
上庄保育園	民間	64・1217	稲郷 43-5	○	○	○
荒島保育園	公立	66・4103	蕨生 126-29	○	○	
阪谷保育園	公立	67・1070	伏石 11-14	○	○	○
和泉保育園	公立	78・2812	朝日 25-7	○	○	○

4月入園のお知らせ

保育園と公立幼稚園



※あかね保育園は増築工事のため、北部保育園（中荒井町1-202 ☎66・2750）の仮園舎で保育を実施しています。問い合わせは北部保育園までお願いします。なお、北部保育園は平成18年4月にあかね保育園に統合されるため入園の募集は行いません

平成十八年四月の保育園（公立・民間）と幼稚園（公立）の入園申し込みを受け付けます。

保育園

入園資格 平成十七年十二月三十一日以前生まれで、保護者が仕事や病気などで保育できない乳幼児

保育料 入園する乳幼児の年齢と保護者（父母のみ）の所得税額などに応じて算定

申込期間 十二月一日（㊤）～二十日（㊤）

申込方法 市福祉課または各保育園に置いてある申込書に必要事項を記入して提出

入園決定 二月上旬に面接と調査を行い、三月中に可否を通知

【特別保育】

乳児保育 家庭の都合で保育できない乳児（零歳児）を預かります

延長保育 保護者が仕事で遅くなる場合などに、保育時間を午後六時三十分または午後七時まで延長します

一時保育 仕事や冠婚葬祭、病気などで急に保育ができなくなった場合に一時的に子供を預かります

※特別保育の実施予定は変更になる場合があります。申し込み前に保育園または福祉課に確認ください

申込・問合せ先 福祉課児童福祉係

☎66・1111 内線474

公立幼稚園

入園資格 平成十八年四月一日現在で満三歳以上の幼児

入園料 一万一千円

保育料 月額六千円（給食費・教材費などが別途必要）

申込期間 十二月一日（㊤）～二十日（㊤）

申込方法 市教育委員会または各幼稚園に置いてある入園願書に必要事項を記入して提出

入園決定 三月中に入園許可証を送付

【預かり保育】 保護者が希望する場合、通常午後二時の降園時間後、午後五時まで園児を預かります。一回八百円

申込・問合せ先 教育委員会学校教育課

☎66・1111 内線521

公立幼稚園一覧

幼稚園名	電話	所在地
乾側幼稚園	65・6263	牛ヶ原 66-1
小山幼稚園	65・2911	下舌 9-1-1
上庄幼稚園	64・1140	稲郷 27-11
富田幼稚園	66・4257	上野 42-17
阪谷幼稚園	67・1070	伏石 11-14

年末年始の市の業務

十二月二十九日(※)から一月三日(※)まで、市の一般業務は休みとなります。この期間中の業務予定は次の通りです。



窓口業務は28日まで

住民票や各種証明書の発行などは二十八日まで行います。

年明けは特に混雑しますので、届け出や証明などの手続きは早めに済ませてください。

なお戸籍の届け出(出生・婚姻・死亡など)は、休みの間も本庁当直室で受け付けます。住民票と税証明書は、二十八日までに電話で予約すれば、休みの間に当直室で受け取ることができます。

問合せ先 市民課市民窓口係 (☎66・1111内線453) 和泉支所住民課住民福祉係 (☎78・2111)

納税窓口を特別に開設

納税に関する相談や納付の特別窓口を、二十九日と三十日に税務課で開設します。

問合せ先 税務課納税係 (☎66・1111内線421)

ごみ収集30日まで

燃やせるごみと燃やせないごみは三十日の収集地区まで、古紙類などの資源ごみは二十八日の収集地区まで収集します。各地区の最終収集日を、ごみ収集カレンダーで確認してください。

なお二十九日と三十日は午後四時まで、クリーンセンターでごみの持ち込みを受け付けます。

問合せ先 清掃管理室清掃係 (☎65・6120)

くみ取りは早めに

し尿のくみ取り業者は二十九日から一月三日まで休業となります。年末は大変込み合いますので、早めに業者へ申し込みください。

和泉地区

和泉地区のし尿のくみ取りは、毎月第二・第四水曜日です。冬期間は

雪のため、くみ取りが困難な場合が予想されることから、十二月は第三水曜日(二十一日)も業務を行います。早めのくみ取りにご協力ください。申し込みは、希望日の一週間前までに和泉支所住民課保健環境係(☎78・2111)へ連絡ください。

なお年明けは第二水曜日から業務を行います。

問合せ先 清掃管理室浄化処理係 (☎69・6082)

年末・年始の急患は

三十一日から一月三日は、休日急患診療所で急患の診療を行います。三十一日は午後一時から九時まで内科・外科の診療を行い、夜間は医師が待機します。一月一日から三日は、午前九時から午後九時まで内科・外科・小児科の診療を行います。受診の際は、保険証と服用している薬の説明書を必ず持参ください。

※和泉診療所は二十九日から一月三日まで休みとなります

問合せ先 休日急患診療所 (☎65・8099)

図書貸し出し

図書館は二十八日から一月四日まで休館です。

なお十二月十四日から三月三十一日までは、図書の貸し出し期間を二週間から三週間に延長します。

問合せ先 図書館 (☎65・5500)

	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
市民課・住民課	平常	平常	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	平常	平常
税務課納税窓口	平常	平常	午前8時半～午後4時	午前8時半～午後4時	(休)	(休)	(休)	(休)	平常	平常
ごみの持ち込み	平常	平常	午前8時半～午後4時	午前8時半～午後4時	(休)	(休)	(休)	(休)	平常	平常
し尿くみ取り	平常	平常	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	平常	平常
休日急患診療所	(休)	(休)	(休)	(休)	午後1時～午後9時 夜間待機	午前9時～午後9時	午前9時～午後9時	午前9時～午後9時	(休)	(休)
図書館	平常	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	平常

カラフル野菜で活性酸素を抑制

活性酸素って何？

私たち人間は、酸素がなければ生きていくことができません。しかしその酸素が、実は老化や病気の原因にもなっているのです。

酸素には鉄をさびつかせたり、油を黒く変色させたりする「酸化」という働きがあります。人間の体内でもさまざまなものが酸化されています。その原因となっているのが活性酸素です。活性酸素は酸素に比べて酸化力がはるかに強く、過剰に発生すると体にいろいろな障害を引き起こします。糖尿病や動脈硬化など生活習慣病をはじめ、肌のしみ・たるみといった老化を防ぐには、酸化を抑える効果のある食べ物積極的に

取ることが大切です。

どういつときに発生するの

体に取り込まれた食べ物は酸素によって燃やされ、エネルギーになるときに活性酸素が発生します。また体内に細菌やウイルスが入ってくる、これを撃退するために白血球が活性酸素をつくり出します。このほか紫外線やたばこの煙、ストレスなどによっても活性酸素は発生します。

カラフル野菜を食べよう

トマトの赤色やニンジンのオレンジ色など、野菜の美しい色には酸化を抑える物質が含まれています。食卓をカラフルに彩れば、見た目にもおいしく、さらに活性酸素の働きを抑える食事にもなります。

一日に取る野菜の目安は、色の薄い野菜は両手二杯、色の濃い野菜は片手二杯です。日ごろからカラフル野菜をたっぷり取り、活性酸素に負けない体づくりを心掛けましょう。



健康だより

健康おおの21
今月のキャッチフレーズ
「早く来て、
体が野菜を待っている」

読書のススメ



『日本の折形』

山根章弘 著
講談社 刊

日本独自の和紙文化「折形」の本を紹介いたします。「折形」とは、品物やお金を人に贈るときに包む方と儀式用に飾る和紙の折り方を総称した用語です。600年もの昔から上級武家の間で伝えられてきた礼法の一つで、包む品物や四季折々の行事によって仕上がりの形が変わり、一目で何が包んであるのか分かるのが特長です。本書には、約80点の「折形」がカラー写真付きで掲載されています。巻末では、「折形」の手順や水引きの結び方が分かりやすく図解されているほか、季節ごとの風流な贈り物のアイデアや四季の行事の由来なども紹介されています。相手を思う心が生んだ日本の伝統文化、日々の暮らしに取り入れてみてはいかがでしょうか。

みんなの図書館

新着図書

【一般小説】

月とよしきり (津本陽) ・ 女形 (不知火京介) ・ 憑神 (浅田次郎) ・ アカシア (辻仁成) ・ 風に向かって咲く花 (小野田隆雄) ・ 日々の泡 (宮崎誉子) ・ 浄夜 (花村萬月)

【ファンフィクション】

世に出ないことば (荒川洋治) ・ 鳥と語る (柳生博) ・ 人間ものがたり (デイヴィス) ・ 意中の建築 (中村好文) ・ 人生の終わり方 (三浦朱門) ・ ももこタイムス (さくらももこ)

長岡輝子の四姉妹 (鈴木美代子)

【児童図書】

暁の円卓9 (イーザウ) ・ 子どもに語るアンデルセンのお話 (松岡享子) ・ さんぽつた (ねじめ正一) ・ かいお姫さま (マクドナルド) ・ リトルソルジャー (アシユリー) ・ 箱舟にのった鳥たち (チャブ)

【絵本】

ルラルさんのほんだな (いとうひろし) ・ とつちゃんのおかえり (村中季衣) ・ ゆきのひのホネホネさん (にしむらあつこ) ・ ねずみくんとかくれんぼ (なかえよしお) ・ ととけこつこよがあけた (こばやしえみこ)

その他、三百二十四冊入りました。

●あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は、情報広報課広報広聴係まで
 ☎0779・66・1111（内線441）

和泉の「伝説」を後世に

青葉の笛保存顕彰会

ぐーんが登場



国民文化祭で演奏するメンバー

和泉地区（旧和泉村）に伝わる「青葉の笛」伝説。その伝説と笛を後世に伝えようと活動するのが保存顕彰会のメンバーです。

結成は昭和六十三年ごろ。数人のメンバーが村に伝わる笛や伝説の勉強をしようと集まったのがきっかけです。村内で活動していた「和泉篠笛の会」にも参加を呼び掛け、現在会員は三十一人です。年数回の演奏会に出掛けたり、竹に親しむため実際に笛を作ったりしながら、活動の幅を広げてきました。また、会結成時に笛の研究で和泉を訪れていた美濃晋平さん作曲のオリジナル曲「義平」に踊りを付けて、現在に受け継いでいます。

「笛の伝説を伝えながら、笛の愛好家を増やしたい」と思い活動を続けています。最近では県外から笛伝説のことを知りたいと訪ねてくる人も増えて、笛を通じた人の輪も広がっていますよ」と会長を務める古里廣芳さん。



練習風景

笛とは異なるものです。練習に励む藤田実紗さんと池田いずみさんは「学校で習うリコーダーと比べて、低い音はやさしく吹きかけないと音が出ません。そういった息の使い方

「青葉の笛」伝説

今から800年ほど前、平治の乱に敗れて朝日の地に逃れてきた源義平が、村の娘おみつと恋に落ち、やがて子供を授かった。義平は村での平穏な生活を望み始めたが、父死去の連絡を聞いて上洛（京都へ上ること）を決意。おみつとまだ見ぬ子供のために、自分の形見として「青葉の笛」を託したとされる伝説。

が難しいですね」と話します。今秋、福井県で「国民文化祭・ふくい2005」が開かれ、和泉会場では「フォーラム青葉の笛」が開催されました。フォーラムでは出演者のトップを切って演奏し、笛の奏でる音色の美しさで多くの人たちを魅了しました。童謡「赤とんぼ」を独奏した和泉中学校三年の畑口千夏さんは「ステージに立つ時は緊張したけど、まあまあうまく吹けました。高校生になっても吹き続けたいです」と話してくれました。

子供たちの指導育成にあたる古川清澄さんは「中学生になると辞めてしまう子供もいるので、続けてくれるのはうれしいです。これからいろいろな場所で会の活動をアピールしていけたら」と語ってくれました。



高嶋 玲香さん (写真左)
山本 三鈴さん (写真右)

大野東高校 3年

高嶋さんと山本さんの2人は夏休みを利用してタイへ行き、社会福祉施設の見学や、リジョイスというエイズ患者支援組織の活動に同行しました。大野東高校では、リジョイスへの活動支援として、7年前から現金や古着などを送っています。今回の活動を通して感じたことや思いなどを聞きました。

——参加しようと思ったきっかけは

(高嶋) 中学の時、実際にタイへ行った先輩の話聞く機会があって、自分もその活動に参加し

タイで福祉施設の見学やエイズ患者支援活動に同行
「看護師になりたい」思いをさらに強く

たいと思っていました。

——見学した施設で印象に残っているのは

(山本) バンコクにある養子縁組センターです。そこは捨て子を預かる施設なのですが、捨て子が年間500件ほどあると聞いて驚きました。その原因が貧困、親が精神病者、HIV感染などと聞いてショックを受けました。

(高嶋) 5歳までの子供たちが入所するチェンマイの養護施設です。家族を養うためにやむを得ず売春婦をした母親からHIV感染した子供たちが多く聞いて、悲惨だと感じました。

——リジョイスの活動に同行して感じたことは

(高嶋) リジョイスはタイのエイズ患者への支援活動として、訪問看護で感染症を予防するための薬やミルクを配布しています。同行させてもらった看護師はみんなやさしく、患者に慕われているなあと感じました。

——学校祭で活動を発表したそうですね

(山本) 現地で感じたことをみんなに伝えて、学校祭の売り上げを寄付させてほしいとお願いしました。理解してくれたみたいで良かったです。

——将来の夢を聞かせてください

(2人) 学校に入学した時から看護師になりたいと思っていましたが、今回の経験を通じてさらにその気持ちが強くなりました。患者さんにとって必要とされる看護師になりたいです。



生懸命に書き表したものです。

朝日小学校では、総合的な学習の一環として五、六年前から「九頭竜紅葉まつり」に全校児童で参加しています。今年十月二十九、三十日にまつりが開かれ、子供たちは開会式で歌を三曲披露しました。「和泉のことをみんなに伝えるつもりで歌いました。うまく歌えたり、笑顔で拍手してくれているのが分かりうれしかった」と子供たち。特に、村のことを思い「ふるさと」を熱唱した後は、会場から惜しみない拍手が送られていました。

そのほかにも、募金活動や会場の清掃などを行いながら、まつりを盛り上げました。愛知県岩倉市から訪れた夫婦は、子供たちからパンフレットを受け取って「田舎の子供ならではの経験ができ、とても良いことだと思えます。パンフレットも丁寧に作ってあり説明も良かったですよ」と語ってくれました。



いきいき大野っ子

今月は新たに「大野っ子」に仲間入りした朝日小学校の児童を紹介します。現在、四十四人(男二十六人、女十八人)の児童が毎日元気に学習しています。

お知らせ

●大野市役所・大野市教育委員会 ☎0779・66・1111
住所 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

平成18年成人式 市外在住で参加する人へ

「平成18年成人式」は平成18年1月8日(土)午前9時30分から文化会館で開催します。

市外に住民登録した新成人(昭和60年4月2日から昭和61年4月1日生まれ)で、成人式に参加を希望する人は事前に申し込みが必要です。申し込みがない場合、成人式の案内が届きません。

※市外に在住していても住民登録が市内にある人は、案内が送付されますので申し込みは不要です。

申込方法 電話またはファクスで、氏名、案内を送付する住所、生年月日、電話番号を連絡



申込締切日 12月15日(土)

その他 案内は12月下旬に送付します。参加者には記念品をお渡します

申込・問合せ先 教育委員会
社会教育課 (☎66・1111
1内線543 内線69・9110)

悩みごと相談

人権擁護委員まで

企画課

12月4日から10日は「人権週間」です。

人権擁護委員は、家庭内や近隣とのめめごと、不当な差別扱いや嫌がらせ・いじめなど、人権にかかわるさまざまな相談に応じています。相談は無料で、秘密は固く守られます。

相談日時 毎月第1・3木曜 日午後1時30分～3時30分

場所 天神館(大野市社会福祉協議会横)

人権擁護委員(敬称略)
○多田正則(伏石16-6 ☎67・1491)

○松田まつ枝(要町1-14 ☎66・0823)
○堂東昭子(中野46-41 ☎66

・3710)

○松田八重子(城町7-4 ☎66・5534)
○上田輝司(森政領家4-4 ☎65・1791)

○廣瀬円昌(藤生22-40 ☎65・4024)

○古川茂雄(下大納4-5 ☎78・2520)
○新屋芳江(朝日18-37 ☎78・2402)

○吉岡和男(上大納22-11 ☎78・2323)

問合せ先 企画課市民協働係 (☎66・1111 内線435)

屋根雪下ろし作業者登録と紹介

総務課

市では、雪下ろし作業が可能な人の登録と、自力で屋根雪下ろしを行うことが困難な世帯に対する雪下ろし作業者の紹介を行っています。

紹介は無料ですが、雪下ろし作業は有料となります。登録者の紹介は

自力で雪下ろしを行うことが困難な人は、総務課まで問い合わせください。登録者を

雪に備える週間

冬の備えは大丈夫ですか。12月1日から7日は「雪に備える週間」です。

快適な冬は1人1人の協力から。冬を迎えるにあたってのルールやマナーをみんなで話し合い、協力して雪対策を進めましょう。

紹介します

※雪下ろし作業が可能な人は電話で登録できます

登録・問合せ先 総務課行政係 (☎66・1111 内線244)

地域ぐるみで屋根雪下ろしを実施

福祉課

公民館ごとに区長や民生委員などで構成する「地域ぐるみ雪下ろし協力推進協議会」では、地域ぐるみで屋根雪下ろしが必要な除雪対象予定者の名簿を作成しています。

除雪対象は一人暮らしの障害者や高齢者のみで暮らす人で、親族などから除雪の援助

償却資産の申告

1月31日までに

税務課

1月1日現在で所有する事業用償却資産に対して、固定資産税が課税されます。市内に、該当する資産を保有または貸し付けている法人や個人は、地方税法の定めにより申告することになります。

期限の1月31日(土)までに必ず申告書を提出してください。

対象となる資産は、法人税法または所得税法に基づく所得の計算上「減価償却費」として損金が必要経費に算入される機械・器具、運搬具、装置、備品、車両、構築物などです。

提出・問合せ先 税務課資産係 (☎66・1111 内線428)

水のみえるまちづくり計画

素案公開と意見募集

市では現在、市民や観光客が“水”を目にし、感じられるまちづくりを目指し「水のみえるまちづくり計画」の策定を進めています。

今回、策定委員会で取りまとめを行っている計画の素案を公開し、策定に向けた意見や提案を募集します。

素案の公開場所 建設課、各公民館
※市のホームページでも公開

提出方法 ①各公開場所に備え付けまたはホームページからダウンロードした「意見募集用紙」を使用②投書箱に入れるか封書で送付、ファクスまたはEメールで

募集期間 12月12日⑨～26日⑨

提出・問合せ先 建設課河川係
〒912-8666大野市天神町1-1
(☎66・1111内線346㉟65・8371)
Eメール kensetu11@city.fukui-ono.lg.jp

国民年金

障害基礎年金は、次の要件をすべて満たす場合に支給されます。

①国民年金加入中に病気やけがなどが原因で障害が残り、障害の症状が固定した時点で障害年金1・2級に該当する状態であること

※障害者手帳の級とは異なります

②一定の保険料納付要件を満たすこと
また20歳になる前や、60歳から64歳で老齢基礎年金を受け取る前に①の状態になった人にも支給されます。

問合せ先 市民課国保年金係
(☎66・1111内線456)

市民のうごき

	11月1日現在	前	月	比
世帯数	12,032世帯			24世帯
人口	39,149人			14人
内訳	男	18,652人		-1人
	女	20,497人		15人
10月中の異動	転入	104人	出生	27人
	転出	81人	死亡	36人

※和泉地区分は含みません

国勢調査・市の人口(速報値)は?



10月1日を基準日として実施しました平成17年国勢調査は、皆様の協力により無事集計することができました。詳しい集計結果は順次総務省統計局から公表されます。今回、県に報告した大野市の人口(速報値)をお知らせします。

3万7844人 (平成12年国勢調査3万8880人)

※和泉地区669人を含む。集計方法の都合上、総務省の公表結果と異なる場合があります

春休み体験クルーズ
参加者を募集

B & G 海洋センター

日時 平成18年3月26日⑨
3月31日⑨

行き先 東京都小笠原村父島

内容 洋上研修や寄港地活動

対象 小学4年生～中学3年生

参加料 8万円

申込締切日 12月11日⑨

申込・問合せ先 B & G 海洋センター(☎64・1311)

クリスマスケーキ作り
参加者を募集

ミルク工房奥越前

今年のクリスマスはフッシー・ド・ノエルに挑戦しませんか。(全6回開催)

日時 12月23日⑨～25日⑨

【午前の部】10時～正午
【午後の部】1時～3時

場所 ミルク工房奥越前

参加料 3000円(1台)

申込方法 開催日の1週間前までに電話で予約

申込・問合せ先 ミルク工房奥越前(☎67・1166)

活用して「ミニ集会」

社会教育課

ミニ集会とは、青少年育成大野市民会議のメンバーが、市内で開かれる町内会などの集まりに参加して、青少年の現状や問題などの話題を無料で提供するものです。
1回15分程度ですので、気軽に申し込みください。
申込方法 公民館や社会教育課などにある申込書を提出

しめ縄作り教室
参加者を募集

下庄公民館

日時 12月18日⑨午前9時～

場所 下庄公民館

定員 20人(先着)

参加料 300円

持ち物 はさみ、エプロン

申込・問合せ先 教育委員会
社会教育課(☎66・1111
1内線541)

12月31日は製造事業所を対象とした「工業統計調査」の日です。12月から1月にかけて、対象となる事業所に調査員が調査票を持って伺いますのでご協力をお願いします。



平成17年12月31日
経済産業省・経済政策局・市区町村 <http://www.meti.go.jp/>

薬草風呂の無料開放

市民課

日時 12月22日⑨午後3時～

場所 東湯・改盛湯・亀山湯

・キューピー湯・白山湯・日乃出湯(五十音順)

問合せ先 市民課国保年金係(☎66・1111内線457)

申込・問合せ先 下庄公民館(☎66・2142)

“文化の祭典” 盛大に

10月22日から11月3日にかけて県内27市町村で開催された「国民文化祭・ふくい2005」。当市でも23日に「民謡・民舞の祭典」が、29日には「ぎゅっとLIVE in ONO」がエキサイト広場を会場に開かれました。全国各地で踊り継がれる伝統芸能や若きミュージシャンたちの熱いライブの数々に、会場を訪れた総勢約2800人はすっかり魅了されていました。また交流広場では、のっぺい汁やおろしそばなどに舌鼓を打ちながら、特設のモニターに見入る人たちの姿も見られました。



民謡・民舞の祭典



ぎゅっとLIVE in ONO



交流広場



二階蔵 展示作品を一新

体験工房や展示コーナーを備える平成大野屋「二階蔵」。その展示コーナーの作品を一新しました。油彩画や木の作品など27点を展示しています。入場無料ですので、ぜひ足を運んでみてください。

大高創立100年祝う

県立大野高等学校で創立100周年を記念するイベントが10月28日に開かれました。東京大学名誉教授の養老孟司さんが「高校生に望むこと」と題して記念講演。全校生徒約800人は熱心に聞き入っていました。





話題のひろば



海・山の幸ずらり「三大朝市」

恒例の「三大朝市物産まつり」が10月22、23日に七間通りで開かれました。朝市のおばちゃんたちによるサトイモや野菜、花などの出店はもちろん、北海道三石町のサケや岐阜県高山市のほうばみそなどが所狭しと並びました。海・山の幸を求めて市内外から大勢の人たちが訪れ、次々と購入していました。



「サトイモ掘り」大野の秋満喫

越美北線と乗合バスの利用促進を図るイベントが10月23日に開かれ、市外から50人が参加しました。サトイモ掘り体験では夫婦や家族で協力して土から掘り起こす光景が見られ、大野の秋を満喫していました。

文化活動の成果発表

日ごろから文化活動に取り組む個人や団体が、その成果を発表する「第39回大野市総合文化祭」が10月30日から11月3日にかけて開かれました。吹奏楽の演奏や舞踊などの舞台発表のほか、生け花や盆栽などの作品展示も行われ、会場を訪れた人たちはじっくりと観賞していました。



七間通りに直売所設置

伝統ある七間朝市のにぎわいづくりを考えようと「大野明倫館」朝市研究チームが、七間通りに直売所を設置して新鮮野菜の委託販売を行いました。夕市の開催や加工品の販売などを通して、直売所のあり方を研究していきます。

表紙のことば

大野市と和泉村の合併を記念し、住民の皆さんによる記念イベントが各地で開かれました。11月5日に行われた「大和巡行」では、朝日小学校の児童24人が越前こぶし組の人力車に乗って大野市を訪問。有終西小学校の児童と一緒に、新市の地図で作ったジグソーパズルなどを楽しみ交流を深めました。また6日から7日未明にかけては、和泉村の長い歴史を振り返り、新市への夢と希望をつなごうと「ありがとう和泉村 よろしく大野市」と題したイベントがJR九頭竜湖駅周辺で開かれました。5年ぶりに復活した「サンソンでしゃんそん」をはじめ、参加者全員による穴馬おどりやカウントダウン風船など、盛りだくさんの内容で和泉村のフィナーレを飾るとともに新市の誕生を祝いました。

編集後記

今月から、和泉地区の名所などを紹介する「いずみ探訪」を設けました。このコーナーでは、和泉地区にある各種施設や四季折々の風景、観光イベントなど幅広い内容を紹介していきます。このコーナーを読んだ後に、ぜひ実際に足を運んでみてください。地元の人との触れ合いや和泉ならではの旬の味覚など、紙面では伝えきれない魅力が皆さんを待っているでしょう（竹田）

いずみ探訪



このコーナーでは、新しく大野市の仲間入りをした和泉地区（旧和泉村）の名所・旧跡などを紹介していきます。



九頭竜温泉平成の湯

下山 63-2-53 ☎ 78・2910

【概要】

下山にある「九頭竜温泉平成の湯」は、誰でも気軽に楽しめる共同浴場です。ジャグジーバスを兼ね備える内湯からそのまま入れる男女別の露天風呂があり、季節の風を感じながら入浴できます。アルカリ性単純温泉で、効用としては神経痛、筋肉痛、関節痛、冷え性、美容健康、疲労回復などに効果があります。隣接するホテルフレール和泉にも同じ源泉が引かれています。

大野市民であれば通常500円の入館料が300円で入浴できます。免許証や保険証などを持参ください。

【アクセス】

市街地から25分。国道158号沿い

【営業時間・料金など】

営業時間 午前10時～午後9時
※午後8時までに入館ください
定休日 毎週火曜日、元日
料金 大人（12歳以上）500円
子供（3歳以上）250円
駐車場 50台（無料）

カレンダーも残り一枚となり、今年も一年が過ぎようとしている。母が私と同年代のころ「年を取ると一年があつという間に過ぎるのよ」と言っていたことを思い出す▼退職後三年がたち、仕事中心だった生活から家庭中心の生活にようやく慣れ、家事に追われる一日が多くなると、ぼんやりと過ごす間に季節が移り変わっていることに気付くときがある。以前、先輩からも「人生は長いというけれど、実際はあつという間よ」と言われたことを思い出す▼この年代になると、仲間が集まれば「五十肩で腕が上がらなくて」「更年期障害でつらいのよ」と暗い話題が多くなり、何よりも健康が一番と痛感する▼そこで仲間を誘い、春はさくらまつりで亀山へ、お城より大野盆地を一望。夏はおおのおどりの輪の中へ。秋は産業フェア、三大朝市物産まつりで産地の味を。そして今年も、和泉村として最後の紅葉まつりへも出掛けた。会場は県内外から訪れた大勢の人でにぎわっていた。澄んだ空気の中で食べるマイタケ弁当は格別であった。帰りには穴馬力ブラやマイタケなど産地の野菜を持ち切れないほど買い求めた▼この一年がまことの四季折々のイベントを満喫でき、仲間との話題も増え、季節を体感できた▼和泉村との合併も行われ、越美北線の復旧工事再開されて、まさに「住みよくなり生きがいのあるまち」を目指し、新大野市が動き出した（小林）

